

科目名	SS 物理 β	理数科選択 2年次・1単位(後期)
目標	物理現象の基本的な内容を中心に学習を進め、多様な物理現象を説明する基本的な概念や法則について深く理解できるようになる。	
位置づけ	日常生活で観察される物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能や思考力を身に付けるようにすることが大切です。	

■使用する教材

- ・問題集
- ・物理の教科書 ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・力と運動
 - 平面内の運動 …………… 【10月】
 - 剛体 …………… 【10月】
 - 運動量の保存 …………… 【11月】
 - 円運動と万有引力 …………… 【12月】
- ・熱と気体
 - 気体のエネルギーと状態変化… 【1月】
- ・波
 - 波の伝わり方 …………… 【2月】
 - 音の伝わり方 …………… 【3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

教科書に沿って各単元の内容の基本的理解を進めていきます。また、実験で基本的な技能や思考力を養います。問題演習や課題に取り組み、内容の定着を目指しましょう。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価基準	A	日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	B	物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。科学的に探究するために必要な観察、実験など基本操作を身に付けている。	物理現象から問題を見だし、観察、実験などを行い、得られた結果を分析し、表現でき、科学的に探究している。	物理現象に関わり、見通しをもったり振り返ったり、科学的に探究しようとしている。
	C	上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト、小テスト、実験	単元テスト、振り返りシート 実験	授業の取組、小テスト、振り返りシート、実験、課題	

単元テスト

回数	範囲	実施予定月
1	第1編 力と運動	10月
	第1章 平面内の運動	
	1. 平面運動の速度・加速度	
2	第2章 剛体	10月
	1. 剛体にはたらく力のつりあい	
	2. 剛体にはたらく力の合力と重心	
3	第3章 運動量の保存	11月
	1. 運動量と力積	
	2. 運動量保存則	
	3. 反発係数	

単元テスト

回数	範囲	実施予定月
4	第4章 円運動と万有引力	12月
	1. 等速円運動	
	2. 慣性力	
	3. 単振動	
5	4. 万有引力	12月
6		12月
7	第2編 熱と期待	1月
	第1章 気体のエネルギーと状態変化	
	1. 気体の法則	
	2. 気体分子の運動	
8	3. 気体の状態変化	1月

単元テスト

回数	範囲	実施予定月
9	第3編 波	2月
	第1章 波の伝わり方	
	1. 波の媒質の運動	
10	2. 正弦波の式	2月
	3. 波の伝わり方	
11	第2章 音の伝わり方	3月
	1. 音の伝わり方	
12	2. 音のドップラー効果	3月